



上向台小だより

5月号
西東京市立上向台小学校
令和7年5月1日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

専門性×チーム指導でつくる、未来を見据えた新たな学びへ

～教科担任制の導入とその取組～

副校長 河又 学

上向台小だより4月号でお伝えしましたように、今年度、本校は東京都教育委員会「小学校教科担任制等加配校」に指定されています。前号ではお伝えし切れなかった内容につきまして、今号では詳しくお伝えいたします。

東京都では、令和3年度から「小学校教科担任制等推進校」を10校設置し、義務教育9年間を見通しつつ、これまで小学校教育において実施されてきた学級担任制のメリットを踏まえて、教科担任制の導入を円滑に進めるとともに、学校現場において効果的に運用するための研究・開発を推進してきました。令和5年度には、更に小学校教科担任制等推進校を10校設置し、令和6年度には87校まで拡大設置しています。本校でも令和6年度から、学力等の向上、複数教員による多面的・多角的な児童理解による心の安定、教員との人間関係や学習経験の広がりによる成長、小学校から中学校への円滑な接続などの効果が見られることを目指し、導入しました。また、教科担任制は、令和10年度末までに12学級以上の都内小学校全校において導入することが決定されているところです。

教科担任制の基本方針は、次のとおりです。

- | | |
|---|--|
| 1 | 高学年において、教科担任制を行う。 |
| 2 | 専門性の高い教科指導を実現し、 <u>中学校教育への円滑な接続</u> を図る。 |
| 3 | 複数の教員による多面的・多角的な児童理解を促進し、学年・専科等のまとまりによる <u>組織的な生活指導</u> を実践する。 |

まず、「1 高学年において、教科担任制を行う。」について、本校では第5学年及び第6学年において、次のとおり担当教員を定めています。

	1組 担任 A	2組 担任 B	3組 担任 C	4組 担任 D
国語	担任 A		担任 C	
社会	担任 B			
算数	担任 A・B 算数専科		担任 C・D 算数専科	
理科	理科専科			
音楽	音楽専科			
図工	図工専科			
家庭	担任 D			
体育	体育専科			
外国語	外国語専科			
道徳	担任 A	担任 B	担任 C	担任 D
総合	担任 A	担任 D	担任 C	担任 D
学活	担任 A	担任 B	担任 C	担任 D

このように、学年教員と専科教員の10人で授業の指導に当たっています。

次に、「2 専門性の高い教科指導を実現し中学校教育への円滑な接続を図る。」についてです。従来の学級担任制では、学級担任が多くの教科を担当しているため、それらの多くの教科の教材研究を行うことが必要になりますが、教科担任制では、担当する教科数が減少するとともに、同様の学習内容の授業を複数回実施することになり、これまで以上に教材研究を深め、授業の質を向上させることが可能です。児童にとってよりよい授業を実現するために、個々の教員が研究と修養に励み、担当する教科の専門性を高められるようにしています。そして、高学年の学級担任と専科教員がチームとなって、児童一人一人の学習状況に関する情報交換を行ったり、指導方法の検討を行ったりするなど、児童の主体性や課題解決能力を伸ばす授業を組織的に展開し、中学校教育への円滑な接続を図ることを目指しています。

最後に、「3 複数の教員による多面的・多角的な児童理解を促進し、学年・専科等のまとまりによる組織的な生活指導を実践する。」について、従来の学級担任制では多くの授業を学級担任が行うのに対し、教科担任制では一つの学級を多くの教員が担当することになります。これまでも、学級担任は、専科教員から学級の児童の様子を聞き、学級経営に生かしてきたところですが、教科担任制の導入により、より多くの教員から児童の様子を聞き、学級経営に生かしていくことが可能になります。

また、専科教員等を学年の副担任として、児童の出席確認の補助や各種便りの発行、給食指導の補助、学年会への出席、児童の様子の情報交換を行うことなど、組織的・計画的に取り組んでいきます。

さらに、加配された中学校の教員からも、中学校における組織的な学校運営や学年経営などについて情報を得るなど、義務教育9年間を見通した教育活動の在り方を見直しています。

今年度、本校では、5月24日(土)に実施される授業公開などにおいても、教科担任制の授業参観の機会を設けていきます。全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、デジタルを活用したこれからの学びを推進し、従来の学び方・教え方を改革してまいります。